

平成27年6月5日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第8回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成26年3月7日（金） 13:30~17:00
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	25名：上叢主査、浅見幹事、今野幹事、坂本幹事、根本幹事、安納委員、岩下委員、植木委員、奥野委員、奥村委員、黒澤委員、郡司委員、坂本委員、佐藤委員、助川委員、田中委員、谷内委員、坪井委員、中田委員、中島委員、中野委員、中根委員、播磨委員、平尾委員、山野委員
議 事	<p>1. 委員会の延長について</p> <p>今野委員より本委員会の延長申請書案の説明が行われた。延長申請書案は予め各委員に送付しており、本委員会で所属等の最終確認が行われた。延長申請は、3月14日の学会企画委員会に提出して学会の承認を得る予定。</p> <p>2. 遮蔽ハンドブックについて</p> <p>全ての章の原稿案が集まり、各章担当から進捗状況及び内容が議論された。また、遮蔽ハンドブックの出版形態についても議論した。何れの出版形態にしても図書番号コードは適用されるので支障はない。編集のスケジュールとして、来年度5月末は各章の原稿締切り、8月末は遮蔽ハンドブックに使用した図の転載許諾書の提出締切りとした。最後に、章毎に記載内容等を議論した。</p> <p>3. その他連絡事項</p> <p>各章主担当から幹事への原稿送付締切りは5月末。次回会合は6月を予定。基礎編の編集進捗の他、応用編の執筆方針について議論を行う。また、延長が認められれば、延長期間の委員委嘱の手続きを4月早々開始する。</p>
備 考	

平成26年 1月15日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第7回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成25年12月6日（金） 13:30～17:00
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	25名：上叢主査、浅見幹事、今野幹事、坂本幹事、根本幹事、安納委員、糸賀委員、植木委員、奥野委員、奥村委員、後神委員、郡司委員、坂本委員、佐藤委員、助川委員、谷内委員、中田委員、中島委員、中根委員、波戸委員、播磨委員、伴委員、平尾委員、平山委員、山野委員
議 事	<p>1. 委員会の延長について</p> <p>今野委員より本委員会の延長申請書案の説明が行われた。本委員会は今年度末で終了するため、2年間の延長を行って遮蔽ハンドブック基礎編を完成させるとともに応用編を作成することで合意した。後日、延長申請書案を各委員に送付し、委員の所属変更、委員の追加等について今年末を目処に幹事に連絡をしていただくことにした。</p> <p>2. 遮蔽ハンドブックについて</p> <p>各章担当からの進捗状況の説明があった。章によって進捗に差はあるが、原稿は集まってきている。内容について若干の修正を行うことになった。また、遮蔽ハンドブックの出版形態についても議論があり、CD-ROMにするか本にするかを、次回までに検討することにした。最後に、章毎に記載内容等を議論した。</p> <p>3. その他連絡事項</p> <p>次回会合は来年3月上旬を予定。今回同様、講演は実施せず、各章の進捗報告、内容の議論を行う。</p>
備 考	

平成26年 1月15日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第6回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成25年10月1日（火） 13:30～17:00
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	25名：上叢主査、浅見幹事、坂本幹事、根本幹事、安納委員、糸賀委員、植木委員、大石委員、奥野委員、奥村委員、黒澤委員、郡司委員、後神委員、坂本委員、助川委員、高田委員、谷内委員、中田委員、中村委員、播磨委員、伴委員、平山委員、鶴巻氏（オブザーバー）、吉川講師、河野講師
議 事	<p>1. 講演「事故後原子炉建屋における除染計画の立案」</p> <p>ATOX の坂本委員、吉川講師、河野講師から「事故後原子炉建屋における除染計画の立案」のご講演をいただいた。事故後の福島第1原子力発電所における廃止措置ロードマップに示される各種作業を実現するために、①除染等による建屋内線量率低減、②作業員の被ばく低減が重要課題となっており、これらを実現することを目的として平成24年度に検討した内容が紹介された。原子炉建屋内は全域に亘って汚染され、現地線量調査の結果から床、壁、天井及びホットスポット以外の特定できない線源による線量寄与が60%あると評価され、線源特定のために高所等の線量率調査が今年度計画されている。また、高線量率場での作業ゆえの難しさもあり、除染、遮蔽体設置作業には遠隔操作が求められ、技術的課題についても明確にされた。その他、現場のさまざまな厳しい状況についても報告があり、有益な話を伺うことができた。</p> <p>2. 遮蔽ハンドブックについて</p> <p>各章担当からの進捗状況の説明をもとに、フォーマット、内容について議論し、若干の修正を行うことになった。また、章毎に記載内容等を議論した。</p> <p>3. その他連絡事項</p> <p>次回会合は今年12月を予定。</p> <p>（講演は実施せず、各章説明に1.5時間、その後に個別調整）</p>
備 考	

平成26年 1月15日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第5回「遮蔽ハンドブック」研究専門委員会
開催日時	平成25年6月19日(水) 13:30~17:00
開催場所	独立行政法人理化学研究所 東京連絡事務所
参加人数	22名: 上叢主査、浅見幹事、今野幹事、坂本幹事、根本幹事、安納委員、糸賀委員、植木委員、奥村委員、郡司委員、坂本委員、杉田委員、谷内委員、坪井委員、中根委員、中野委員、波戸委員、根本委員、播磨委員、平山委員、山口委員、熊田講師
議 事	<p>1. 講演「加速器ベース BNCT 治療装置の開発」</p> <p>筑波大学の熊田先生に「加速器ベース BNCT 治療装置の開発」のご講演をいただいた。最初に日本における放射線治療の現状、BNCT 治療の原理・特徴・計画の説明があり、その後、JRR-4、KUR でのこれまでの BNCT 治療の臨床例、及び開発が進められている加速器ベース BNCT 治療装置の特徴及び現状が紹介された。また、BNCT 治療での線量評価、関連する計測技術、照射技術についても報告があり、放射線遮蔽に係る有益な話を伺うことができた。</p> <p>2. 遮蔽ハンドブックについて</p> <p>今野委員より、改訂された目次案、執筆責任者及び担当者の説明があり、審議の上、更に改訂を行うことになった。また、改訂された遮蔽ハンドブック書式の説明があり、原案で了承された。更に、各章の責任者から現時点での進捗報告をしていただいた。ドラフトがでてきたところもあるが、大部分は担当、方針が固まってきた段階で、今後、本格的に原稿執筆が行われる予定。最後に、章毎に今後の進め方等を議論。</p> <p>3. その他連絡事項</p> <p>次回会合は今年9月下旬以降を予定。坂本委員からアトックスがエネ庁の公募事業を受託した「事故のあった原子炉建屋の線量低減計画の立案」についての講演の提案があり、次回会合の講演テーマとして取り上げることになった。</p>
備 考	